

平成23年度 長野県図書館協会

小中学校図書館部会だより

《 第130号 》

第61回長野県図書館大会を終えて



< 600名を超える参加者で満員の開会式 >

上小支部長 青木中学校 島田 秀一

第61回長野県図書館大会は、「子どもと地域の人の自立を支える情報拠点・図書館の可能性を考えよう！ ～暮らしの中で必要な図書館であるために～」を大会テーマに掲げ、10月22日（土）に上田市真田中央公民館や真田中学校などを会場に開催されました。午前中は小雨模様の天気でしたが、昼頃からは穏やかな秋の1日となり、県下各地より600名を超える方々にお集まりいただき、研究を深めることができました。

開会式では、主催者を代表して荒深県教育次長と牛山協会長から、今大会が61回目という還暦を過ぎ、図書館と読書活動の新しい歴史を創るスタートという意義ある大会であることや、学校図書館や公共図書館、読書活動の課題についてのお話がありました。また、母袋上田市長からは上田市が掲げた「文化の薫る創造都市」づくりに図書館が地域の情報センターとして重要な役割を果たしているため、行政としての取り組みも一層大事に考えている旨の祝辞をいただきました。開会式の最後には宮下県図書館協会事務局長（常務理事）より、「長野県における図書館の現状と今後の方向～指針策定のために～」と題して、本年度より新たに「問題提起」をしていただきました。

基調講演では童話作家の富安陽子さんに「やまば母さんのないしょ話」と題してお話いただきました。楽しいお話に会場内は終始笑顔と笑いに包まれていました。参加者からは「大変興味深い話を聞くことができた。先生の作品を思い浮かべながら聞き、とても楽しい時間だった。どのような思いで作品を作られているかが伝わってきた」「作品が生まれた背景を感じ、作品の魅力とともに、富安さんの人としての魅力も伝わってきて、とても楽しい時間だった」「作品にまつわる話や人となりを知る貴重なお話を聞くことができた。作家を知ることによって本への魅力も増し、子どもたちへの導入にも役立てることができる」といった感想を聞くことができました。

午後16の分科会に分かれて、レポート発表・研究協議・ワークショップ・情報交換等を行いました。小中学校部会は6つの分科会を担当しました。どの分科会でも熱心な討議がなされていました。参加者からは「様々なテーマから勉強したい分科会があり、行き易くてよかった」「学校司書の立場で、今自分にできることを見直す機会になった」といった感想をいただきました。全体的に学校司書の方々の参加が多く、司書教諭の先生の参加が少ないことが課題と思われます。

本大会は今までの反省から、運営する側も参加する側ももっと気軽に参加して話し合うことができ、実のある大会にすることを願い、閉会式を行わずに分科会の時間を長くしたこと、大会要項（当日配布）の簡素化をしたこと、大会宣言を廃止し、「問題提起」としたこと・・・等々、幾つかの改善を行いました。これらの改善については多くの参加者から支持をいただきました。今後も、改善の方向は進めたいと思います。

終わりにりましたが、運営面・施設設備面等に多大なご支援をいただきました上田市・上田市教育委員会様、大会実行委員会はじめ、関係諸団体の皆様、並びに県下各地からお集まりいただき大会を盛り上げていただいた参加者の皆様に心より感謝申し上げます。

終わりにりましたが、運営面・施設設備面等に多大なご支援をいただきました上田市・上田市教育委員会様、大会実行委員会はじめ、関係諸団体の皆様、並びに県下各地からお集まりいただき大会を盛り上げていただいた参加者の皆様に心より感謝申し上げます。



< 基調講演の富安陽子さん >

第61回長野県図書館大会 第6分科会：「司書教諭と学校司書」に参加して

長和町立長門小学校 宮原 美恵

私が参加した分科会は、「図書館をもっと活用したい・してもらいたい～そのためにこれからできること」をテーマに話し合いました。特に小学校では、新しい教科書で学ぶ内容と図書館の本との関連や利用の仕方について参加者の関心が高く、各教科の年間計画を活用した本の揃え方や利用指導の工夫について、私自身大変勉強になりました。学校司書の先生が、図書館利用が考えられる学習内容を把握して事前に資料を揃え、調べ学習に対応できるよう準備していただいている努力に頭が下がる思いでした。司書教諭は、その学習がより充実できるようクラスや学年への働きかけや利用指導に更に協力していくことが大切だと感じました。

また、学校図書館は「知の情報センター」としての役割ばかりでなく、色々な悩みや相談事を抱える子ども達が来て本を探したり先生と会話したりできる場でもあることを再認識しました。一人でも多くの子ども達が目を輝かせてワクワクしたり、興味のあることをじっくり調べて考えたり、時にはほっとしたりする図書館を、これからも知恵やずくを出し合い、共に作っていききたいと心から思った分科会でした。



今年度の各地区の図書館教育研究会から

北信地区

北信地区学校図書館教育研究会に参加して

須坂市立相森中学校 青木 典子

須坂市立東中学校の3年生の授業クラスでは、前年度の読み聞かせをきっかけに、ふるさとの民話に関心を持った生徒たちが、グループごとに民話を調べ、全校や地域に発信していく活動を国語の時間だけではなく、他教科と連携を図りながら進めていました。

研究会当日は、外部講師から紙芝居や読み聞かせのやり方について指導を受けながら、生徒はグループごとの課題解決に向けて発表練習を行いました。外部講師は地域で読み聞かせなどを行うボランティアの方々でしたが、聞き手を惹きつける読み聞かせの技に触れた生徒は、その技に近づくためにひたむきに練習を行い、少しずつ課題を解決していきました。

自分のふるさとの民話を知り、ふるさとしてボランティアとして民話などの読み聞かせを行う外部講師の方々から学び、その民話をグループの友達と工夫して保育園で園児に伝えるという学習は、「民話を柱にした、人と人をつなぐ活動」でもあったように思いました。

中信地区

中信地区図書館教育研究会に参加して

王滝小中学校 西路 眞知子

木祖小学校1年生「むかしばなしがいっぱい」。むかしばなしむらの絵を見ながら子どもたちが絵の中に隠れているお話のタイトル、あらすじ、登場人物などを紹介していく授業を参観しました。

発表したい思いを先生が上手く受け止め、ひとりひとりのつぶやきにも耳を傾けられていて、本好きな子どもたちの気持ちが十分伝わってくる授業でした。研究会では、どこの出版社の



《学校司書との連携を協議する》

本がよいのか、もっと読ませたいが時間が足りないなど、多くの意見が交わされました。その中でも「低学年から読書のよさを伝えてほしい」という言葉は深く印象に残りました。

学校司書として、授業参観・研究会の機会があればこれからも進んで参加し、研修を深めていきたいと思えます。

講演会では、杉みき子先生のお人柄が伝わってくるような、優しい声と語りで、作品に関わるエピソードや想いなど貴重なお話をお聞きすることが出来ました。「子どもの頃の幸せな体験こそが財産である」。先生のお言葉を子どもたちに伝えていきたいと思えます。今回参加出来たことに感謝しております。



南信地区図書館教育研究会に参加して

花田養護学校 三澤 博美

下諏訪中学校の校友会の活動の様子を参観しました。その後の研究会では、魅力ある図書館にするための様々なアイデアも出され有意義なものでした。

分科会では、「公立図書館・生涯学習・PTAとの連携」について、下諏訪町の取り組みが紹介されました。家庭読書の日を位置づけ、町全体での取り組みに興味深いものを感じました。また、他地域の取組の様子も意見としてたくさん出されました。花田養護学校は、下諏訪町に位置しています。図書館も常に司書教諭がいる状況にはあらず、他の図書館等とのネットワークでつながる環境にありません。しかし、読書旬間に今回発表のあった「おはなしのへや」の皆さんを含む2団体の本格的なお話会、下諏訪町立図書館から季節に応じた絵本の貸出等、様々な協力を得ています。お話にふれた時の子どもたちのいい表情を思い出しながら、連携の大切さを再確認した一時を過ごすことができました。



北信越地区学校図書館大会(新潟大会)に参加して

佐久市立中佐都小学校 中島 寛子

第26回北信越地区学校図書館研究大会が、8月18日・19日に新潟県三条市で行われ、北信越地区から多くの図書館に携わる先生方が参加され、17の分科会に分かれてそれぞれのテーマに沿ってレポート発表と研究討議が熱心に行われました。

私は、「幼・保、小のつながりを大切にしたい読書活動」の分科会でレポートを発表させていただきました。レポートでは、中佐都保育園との交流で、1年生が本の読み聞かせや昔話の発表を行う計画を立てていることや、毎日の読み聞かせや保護者への働きかけを続けながら、保育園・幼稚園での楽しい読書体験を引き継いでいきたいことをお話しました。また、実践をまとめることにより、今後の課題を見つけることもできました。

新潟県柏崎市立二田小学校の阿部先生からは、柏崎市西山町地区の小学校では、3校足並みをそろえて保育園と小学校の連携を大切にしているという発表がありました。連携の中には、子ども同士の交流、教職員と園児の交流、小学校教員による出前授業、図書館だよりの送付などがあるそうです。地域をあげて読書活動を進めている点が、非常に参考になりました。

北信越地区の多くの先生方が、読書指導・利用指導に実践を積み重ねており、その熱意に触れた2日間で、これからも図書館教育充実のために工夫していこうという意欲を喚起されました。レポート発表というよい機会を与えていただいたことに感謝します。



長野県図書館協会 小中学校図書館部会だより 第130号

〈発行日〉平成23年12月14日

〈発行者〉長野市若里1-1-4 県立図書館内

長野県図書館協会 小中学校図書館部会 (代表 綿内良子)